

みんなで作ろう！戦後80年

1945年って何があったの？

8000人以上亡くなられたって？

神戸空襲って どんなことがあったの？

神戸空襲を記録する会 って どんなことをしているの？

新たな「戦前」にしないために って！



1945年は、東京や名古屋、大阪、神戸など大都市への大きな空襲が続き、中小都市も空襲されました。広島や長崎では原爆により 町が消えてしまう大きな被害と多くの犠牲を出し、今も多くの方が苦しんでいます。2024年ノーベル平和賞を被団協が受賞し、これまでの訴えや継承の努力が評価され本当にうれしい事です。

戦前の神戸は、中国や当時植民地だった朝鮮、台湾への窓口であり、東南アジアへの窓口でもあり、鉄鋼や造船、戦闘機などの軍需工場の街でもありました。この神戸に何度も空襲があったのです。

2022年からロシアのウクライナ侵攻が始まり、2023年10月からイスラエルのガザ攻撃が始まり、いまだに停戦のめどはたっていません。

2025年は戦後80年を迎えます。



神戸の街にも戦争があり、多くの犠牲と、戦後も生き抜いてきた人々の、今につらなる歴史や思いもあります。あの戦争を忘れないために、戦争を風化させないために、今も続く戦争をストップし、平和をつくるために何ができるでしょうか。

9月の話し合いでは、兵庫運河をクルーして大輪田橋の空襲の跡を確認したい。子どもたちとワークショップをしたい。戦前の神戸の街と、空襲の被害時、現在と比べてみたい… 少しずつ具体化の取組みを進めています。

やってみようということ、こんなことができるかな、ということ、いろいろと話し合ってみませんか。第2回目を開きます。



2025年2月16日(日)13時半～16時
神戸学生青年センターに集まろう

(ウエスト100 1階会議室)

神戸空襲を記録する会

連絡先 電話 078-891-3018

FAX 078-891-3019

